

教育研究業績書作成の手引

— 専任教員・任期制教員 —

2019.4.1 一部改定

A. 教育業績の記入について

(1) 全般的事項

- ①教育業績の対象期間は、過去 10 年間となります。それ以前の業績については除外してください。
- ②対象期間に業績がない場合は、教育業績は空欄のままで提出してください。
- ③教育業績は、当たり前のことと思われる取組みの中にも「教育内容・方法の工夫」に該当するものが多く含まれていると思われます。これまでの取組みを点検してください。
- ④e-Rad（府省共通研究開発管理システム）研究者番号（科学研究費助成事業で使用する研究者番号）は、取得済みの方のみ記入してください。
- ⑤「教育業績」は自分自身が主導的にかかわった結果が業績と認められるものです。ティーチングアシスタント等、教育補助業務上の取組みは「教育業績」に該当しません。

(2) 教育実践上の主な業績（例）

- ①教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）
 - 優れた教育方法の実践例
 - マルチメディア機器を活用した授業方法
 - 学生の授業外における学習促進のための取組み
 - 講義内容の web 上での公開
 - 各大学での自己点検・評価の一環として、教育面での高い評価を受けた事実
 - 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
 - 学外の評価機関等が行った評価
 - 上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記入）

教育内容・方法の工夫の事例について

概要欄には工夫の事例という視点で記入してください。

(1) 自己流授業アンケートの実施も事例に該当します。

「受講生から出席カードの裏側に感想や質問を書いてもらって提出してもらい、次回授業の折に質問への応答をすることによって振返りを行っている」という事例も、学生参加型の貴重な取組みです。「独自に授業についての感想を頻繁に書いてもらい、受講生の希望や意見を授業の中に反映させるよう努力した」というケースも同様です。

(2) 教育方法の工夫の具体例

①卒業研究・卒業論文や修士論文の中間発表

セミナーハウスを利用して、卒研・卒論や修論の中間発表をすることも教育方法の工夫の事例となります。また、「卒論の試問を終えてから、振返りを兼ねて本当の意味での卒論の仕上げをしている（和綴をする）」等も教育方法の工夫の事例です。

②HP 作成

外国語学習のために、学生に HP を作成させている事例等も教育方法の工夫に該当します。

③高校での模擬授業、オープンキャンパスでのミニ講義等

最近、高校に出向いての模擬授業やオープンキャンパスでのミニ講義等の取組みも多くなりました。これらの多くは大学での授業現場に反映される点も多いと思います。教育方法に工夫がある場合には、「教育実績」に該当します。特筆すべき教育内容・方法の工夫がない場合には、「職務実績」として記入してください。

④その他

次のような事例も該当しますので、積極的に記入してください。

- セミナーハウスで学生とオペレッタ公演をした。
- グラフィックの授業の学生が作った作品の発表会を開催した。
- 情報設備の整った教室を利用してプレゼンテーションをさせている。
- 授業にゲストを招いて実演してもらっている。
- e-learning の一環として、公開講座の e-learning プロジェクトに参加した。
- 授業での取組みを学生と一緒に学会で発表した。
- オフィスアワー以外にも個人研究室をオープンルームにして、学生の学習相談、生活相談にのることができるようにしている。
- 大学院生に研究指導の一環として研究会を自主開催させ、研究会支援をしている。
- 卒業研究提出時期には、きめ細かな学生指導を行い、サポートしている。
- 授業前 1 週間で気になる新聞記事を各自持ち寄せ、その中の 1 名を指名し、5 分間のプレゼンテーションをさせている。
- 企業の情報システム開発に授業の一環で加わった。

②作成した教科書、教材、参考書

- 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（研究業績との重複可）。
- 教材として作成した映像データ、パワーポイント等
- 教科書でなくても、「参考になる資料をプリントにし、授業の進行にあわせて配付して教材として使用している」事例や、「学生にはこの配付プリントをファイルさせて、必ず授業には携帯させ活用している」事例も記入してください。

③教育方法・教育実践に関する発表、講演等

- 発表、講演の実施年月日を明記してください。
- 発表（講演）は学会に限定しません。また、学の内外を問いません。
（例）研究所での FD 研究での発表
大学導入科目での模擬授業
大学コンソーシアム FD フォーラムでの発表
- 具体的にご自身又はご自身を含む取組みについて発表、講演がなされているものに限りです。

④その他教育活動上特記すべき事項

- 大学教育改善に関する団体等での活動の概要。私的な研究会でも教育活動に関係するものは該当します。
- 教育実績に対する受賞歴
- 国家試験問題の作成等

B. 職務実績の記入について

(1) 全般的事項

職務実績は、過去 10 年間に限らず、それ以前のすべての期間について記入してください。

(2) 職務上の主な実績（例）

- ① 科学研究費助成事業による研究活動（研究代表者・研究分担者）
- ② 外部資金による研究活動
- ③ シンポジウム等における学術的な通訳
- ④ 海外の大学、研究機関からの招聘による授業実施や研究活動
- ⑤ 附属研究所等における研究活動
- ⑥ 博物館の展示企画・研究活動
- ⑦ 博物館の図録作成（解説は「研究業績Ⅲ．口頭発表・その他」に記入のこと）

科学研究費助成事業・外部資金の記入について

科研費の成果報告書の簡素化を受けて、科研費等による研究活動を職務実績として記入することとしました。

〔 研究代表者の例 〕

名称：外部資金の獲得（科学研究費助成事業；研究代表者）

概要：科学研究費助成事業（基盤研究C）「研究課題名」（研究課題番号：〇〇〇〇〇〇 2016.4.1～2019.3.31）の研究代表者として、研究分担者7名、連携研究者2名体制で研究を率いている。

〔 研究分担者の例 〕

名称：外部資金の獲得（科学研究費助成事業；研究分担者）

概要：科学研究費助成事業（基盤研究C）「研究課題名」（研究課題番号：〇〇〇〇〇〇 2012.4.1～2016.3.31 研究代表者：氏名）において、■■■■を担当した。

※研究分担者の場合は、分担された担当を具体的に記入してください。

大学教員以外での職務実績例

① 教員関係

- ・ 学校における優れた教科指導、生徒指導等の方法
- ・ 生徒、校長、保護者等による評価
- ・ 食に関する指導計画の作成に参画したことがある等、児童生徒の食に関する指導の実績
- ・ 生活習慣病の一次予防のための望ましい食習慣の形成に係るものをはじめ、幅広い指導歴等の概要

② 教育委員会等関係者の場合

- ・ 現職教員を対象とした研修・講座の講演歴等の概要
- ・ 教育委員会での職歴、職務内容

③ 企業、官公庁の研究者

- ・ 大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割

④ その他、企業・団体等関係者

- ・ 国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

⑤ 情報技術者関係

- ・ コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）

⑥ マスコミ関係者

- ・ 執筆した記事の概要
- ・ 作成した番組の概要

⑦ 医師や看護師等医療技術者

- ・症例研究会での発表等の活動
- ⑧福祉その他社会的活動の関係者
 - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- ⑨スポーツ等実技関係者
 - ・指導者としての経歴・実績・資格
- ⑩芸術関係者
 - ・作品の概要
- ⑪博物館、美術館関係者
 - ・担当した展覧会の概要
 - ・執筆・監修した展覧会図録の概要
- ⑫その他
 - ・ティーチングアシスタント、リサーチアシスタント、寮監等の職務内容

C. 学会等及び社会における主な活動の記入について

- ①所属期間と所属学会名（学内学会を除く。）を記入してください。
（例：2012年4月～現在 日本〇〇学会）
- ②学会役員等（理事、評議員）については、その期間、役職名等を記載してください。
- ③学会に準ずる研究会についても記入してください。
- ④ボランティア団体等の社会活動についても、②に準じて記入してください。

D. 研究活動の記入について

全般的事項

- ①研究活動は、すべての業績について、「Ⅰ. 著書」「Ⅱ. 学術論文」「Ⅲ. 口頭発表・その他」の区分でそれぞれ年月日順に古いものから記入してください。
- ②それぞれの区分ごとに、概要の最終行に「以上〇点」と記入してください。

I. 著書

【対象となる業績】

- 「著書」の他、「編書」「訳書」について記載してください。
- 「訳書」には、古典文献の現代語訳を含みます。
- 『学位論文』（博士論文に限る）については、学位論文に加筆・修正するなどして単行本として刊行されているものは、「著書」と「学術論文」の両方に記入してください。加筆・修正などをせず学位論文をそのまま単行本として刊行された場合は、「著書」には記入せず、「学術論文」に記入し、概要に単行本として刊行された旨を記載してください。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

「分担執筆」が「著書」に分類変更になりました。

従来、「学術論文」とされてきた「分担執筆」が、「著書」に分類されることになりました。

これは、文部科学省が実施する、教員審査の基準変更にともなうもので、「共著」の扱いとなります。概要欄には、200 字以内の概要のほかに編著者名、分担執筆者全員の名前（自身の名前も）を、掲載順に記入する必要があります。（以下の記入要領⑤ - d - 3 を参照してください）

文部科学省の基準は以上のとおりですが、分担執筆者が多数の場合には、「学術論文」に分類する方法もあります。

出版物の全体に執筆者が責任を持つ「著書」に対して、「分担執筆」は、書籍の一部を構成するに過ぎないため、「学術論文」に分類するのが適当であると思われます。特に、「〇〇記念論文集」等の論文集については、執筆者も多く、業績記入も煩瑣になるため、従来どおり、「学術論文」として記入されるのが望ましいと考えられます。

「辞書」「事典」の取扱いについて

辞書や事典（辞典）を執筆される先生方もおられると思います。

一般的に、辞書や事典（辞典）は、編者や編集委員会のもとで、複数の執筆者が語句や事項を分担し、執筆することが多いようです。編者や編集委員会の一員として明記されている場合には、「編集」あるいは「編著」の扱いになりますが、分担して執筆するのみの場合には、「分担執筆」になります。

辞書や事典（辞典）の分担執筆については、「学術論文」ではなく「その他」の区分になります。ご注意ください。

【記入要領】

① 名称

書名を省略せず記入してください。

② 単著・共著等の別

次の中から該当するものを記入してください。

単著、共著、単編著、共編著、単編、共編、単訳、共訳、その他

③ 発行年月

初版の発行年月を奥付等の記載に従って西暦で記入してください。

なお、増補改訂した場合には、増補改訂年月を年月欄に記入し、あわせて初版年月を概要欄に記入してください。

④ 発行所・発行地

発行所名、団体名は省略せずに正確に記入してください。また、海外の発行所の場合は発行所の所在地国名を記入してください。

⑤ 概要

a. 200 字以内で記入してください。

b. 著書全体の総頁数を記入してください。

c. 学位論文については、その旨を概要に記入してください。

d. 編著・共著・共編・共訳の場合

1. 担当部分を明記してください。

（例 本人担当：「第△章〇〇〇の△△」等）

2. 本人執筆部分の掲載頁数と該当頁を記入してください。

（例 1 頁（24 頁）又は 1 p. (p.24)、4 頁（13～16 頁）又は 4 p. (pp.13-16)）

本人の担当部分を明確にできない場合は、その理由を記入してください。

（例 共同研究につき、本人担当部分抽出不可能）

3. 本人の氏名を含め著作者全員の氏名を、当該著書に記載してある順序で明記してください。その上で、本人の氏名に下線を引いてください。本人の担当部分がない場合は、監修、編集等の別を記入してください。

(例 編著：△△△△、□□□□、分担執筆：○○○○、××××・・・等)

Ⅱ. 学術論文

【対象となる業績】

- 学会誌・国際学会議事録・学内紀要等に掲載された学術研究論文。それ以外の雑誌に掲載された場合は、論文内容の如何を問わず、「その他」に分類してください。
- 学会発表要旨として学会誌に掲載された場合には、「口頭発表」として記入したもとなる業績の概要欄に、要旨掲載雑誌名、巻号、発行年月、掲載頁数と該当頁(例 1 頁(24 頁)又は 1 p.(p.24)、4 頁(13~16 頁)又は 4 p.(pp.13-16))を記入してください。
- 論文集等に掲載された学術研究論文、分担執筆した論文
- 科学研究費助成事業研究成果報告書等の学術研究論文
- 学位論文(博士論文に限る)の未刊行のもの。単行本として刊行されている場合であっても、加筆・修正などをせず学位論文をそのまま単行本として刊行された場合は、「著書」には記入せず、「学術論文」に記入し、概要に単行本として刊行された旨を記入してください。修士論文は研究業績には該当しません。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

【記入要領】

- ① 名称
論文の題名を記入してください。
学位論文については、当該論文題名の下に(博士論文)と記入してください。
- ② 単著・共著の別
単著・共著の別を記入してください。
- ③ 発行年月
 - a. 発行年月を奥付の記載に従って西暦で記入してください。
海外の出版物等、発行年月を数字表記ではなく“fall”等と表記している場合は、「発行年月」欄でなく、「概要」欄に記入してください。
 - b. 学位論文については学位授与年月を記入してください。
 - c. 未刊行のものは「○○年○月予定」と記入してください。
- ④ 発表雑誌・学会等の名称
 - a. 名称の他、巻・号まで記入してください。
 - b. 学会誌・論文集名、及び学会名・刊行団体名を正確に記入してください。
 - c. 学会等の名称は、省略しないで正確に記入してください。
 - d. 科学研究費助成事業による業績は、研究課題及び研究期間の年度を記入してください。
 - e. 学位論文は、学位を授与された大学及び授与機関名を記入してください。
 - f. 分担執筆(論文集)を学術論文に掲載する場合には、出版物名、著者又は編者名、出版社名を記入してください。
- ⑤ 概要
 - a. 200 字以内で記入してください。
 - b. 掲載論文の掲載頁数と該当頁を記入してください。
(例 1 頁(24 頁)又は 1 p.(p.24)、4 頁(13~16 頁)又は 4 p.(pp.13-16))

Ⅲ. 口頭発表・その他

(1) 口頭発表・口頭発表要旨・講演・講演録・書評等

【対象となる業績】

- 学会の発表等、学術研究に関するもの。
- 業績がない場合は「なし」と記入してください。

【記入要領】

① 名称

番号をつけ、発表題目・講演題目等を記入してください。

② 種類

- a. 口頭発表・**口頭発表要旨**・講演・講演録・書評等の区分を記入してください。
- b. 学会における口頭発表の場合、「一般発表」・「特別講演」・「シンポジウムのパネル」等の発表・形態の区別を記入してください。
- c. 国際・国内学会に招待されたゲストスピーカーの場合はその旨を記入してください。
- d. 口頭発表要旨として学会誌に掲載された場合には、「口頭発表」として記入したもとになる業績の概要欄に、要旨掲載雑誌名、巻号、発行年月、掲載頁数と該当頁（例 1 頁（24 頁）又は（p.24）、4 頁（13～16 頁）又は（pp.13-16））を記入してください。

③ 発表雑誌・学会等の名称

- a. 名称の他、巻・号まで記入してください。
- b. 学術大会名・学会誌名及び学会名・刊行団体名を記入してください。
- c. 学会等の名称は省略しないで正確に記入してください。

④ 概要

- a. 200 字以内で記入してください。
- b. 掲載論文の掲載頁数と該当頁を記入してください。
（例 1 頁（24 頁）又は 1 p.（p.24）、4 頁（13～16 頁）又は 4 p.（pp.13-16））
- c. 発表時間を記入してください。
- d. 発表要旨が雑誌に掲載された場合は、掲載雑誌名を記入してください。

（2）作品・演奏発表等

【対象となる業績】

- 美術分野における設計、制作、展覧会出品、個展、共同展、その他
- 音楽分野における作曲、編曲、演奏、指揮、その他
- 体育分野におけるダンス、体操等の作品発表等

【記入要領】

① 作品又は演題名

- a. 演奏会等での演奏や個展の開催のように、ひとつの発表会で多数作品を発表する場合 1 発表作品について記入するか、代表作品を明示し、発表作品の点数を「他〇点」というように明記してください。
- b. 音楽作品の場合は「作曲」「編曲」の区分を記入してください。また、「演奏」については、その形態の「独奏(唱)」「合奏(唱)」「伴奏」等を記入してください。
- c. 美術作品については「油絵」「水彩画」「立体作品」「版画」等作品の種別を記入してください。
- d. 体育分野における作品発表については、「ダンス」「体操」等、作品の種別を記入してください。
- e. 作品又は演題名には番号をつけてください。

② 概要

- a. 200 字以内で記入してください。
- b. 「作品又は演題名」で多数の作品をまとめて記入する場合には、その作品の明細を記入してください。
- c. 共同作品については、共同作者又は発表者について記入してください。
- d. 展覧会等の受賞作品については、その旨を記入してください。

D 研究活動(記入例)				
著書、学術論文等の 名 称	単著・共 著・口頭 発表の別	発 行 又 は 発表の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌等 (及び巻号・数) 又は 発表学会等の名称	概 要 著書・論文・発表等の概要(200字以内) 及び [掲載頁数 頁] [本人担当 頁～ 頁] [発表時間] [要旨掲載雑誌名]
I. 著書 1. △△△論	共著	○年○月	□□□□出版	200字以内の概要 総頁数○○頁 本人担当：第○章○○の△△ ○○頁(△△～△△頁) 編者△△、共著者○○、□□、
2. ◇◇◇	単著	○年○月	■ ■ 堂	200字以内の概要(博士論文) 総頁数○○頁 以上 2 点
II. 学術論文 1. ▲▲▲研究	単著	○年○月	大谷大学大学院 研究紀要第○号	200字以内の概要 ○○頁(△△～△△頁)
2. ◎◎◎	単著	○年○月	◇◇学術誌○○号 (□□大学□□学会)	200字以内の概要 ○○頁(△△～△△頁) 以上 2 点
III. 口頭発表・その他 1. ▽▽▽の問題	口頭発表 (一般発表)	○年○月	□□学会◇◇大会	200字以内の概要 発表時間 △△分
2. ▼▼の一考察 (発表要旨がある場合)	口頭発表 (一般発表)	○年○月	第◇◇回研究発表会 (□□□学会)	200字以内の概要 発表時間=△△分 発表要旨=◇◇◇誌(□□□学会 ○○頁(△△～△△頁)
3. □□□	資料作成他	○年○月	△△△集 (□□出版)	○○○篇の資料作成 ○○頁(△△～△△頁) 以上 3 点